

## 資料6

# 令和8年度 スキーム&チャレンジ！～新たな「業務改善提案」の枠組み～

## 『これまでの取組』を進化させる『新たな試み』

- 「既存ルール内での最適化」(アナログ的見直し)から「抜本的な業務改革」(生成AI等の活用)へ
- 「若手が声を上げる文化の根付き」を「現場での目に見える業務改善」に還元
- 「特定のファシリテーターによる一過性の支援」から「所属全体で磨き上げる日常的な実践的OJT」へ

## 実効性を確保する『新たな枠組み』 ～持続可能な行政運営への転換～

- 「**DX×若者の発想**」: アナログ的発想から脱却するための生成AIと若手のアイデアを掛け合わせたテーマ設定
- 「**実務改善と内部統制強化**」: 若手の提案を現場の課題解決に直結させる実務的フローへの一本化
- 「**世代間協働によるOJT**」: 若手の感性とベテランの知見の融合で現場の創意工夫を促すスキーム

## 期待される効果（持続可能な組織づくり）

- 「**職員の働き方改革**」: 業務の抜本的効率化による職員のリカバリー・タイムと現場の余力の創出
- 「**内部統制の機能強化**」: 時間的・精神的なゆとりを土台とした確実なルール運用による重大ミスの未然防止
- 「**実践的な人材育成**」: 風通しの良い職場での実践的OJTによる若手のやりがいとエンゲージメントの向上

## 資料6

### 業務改善提案スキーム&チャレンジ！令和7年度実績

- 意見交換会：令和7年7月9日（水）13時30分～15時  
参加者：13名（4～5名×3グループ）…主事、主任級職員
- 各グループにファシリテーター（先輩職員）設置。  
円滑な意見交換を行うよう支援するとともに助言を行い、関係課へ意見照会するなど、提案のブラッシュアップを行った。
- 改善提案は、迅速な改善が可能な場合は、速やかに業務改善をし、効果や影響の全庁への波及が期待できる場合は、業務プロセスの見直しに位置づけることとしている。
- 改善提案については、令和7年10月6日(月)13:30～16:00 知事プレゼン実施

| テーマ                       | 改善提案                                                                           | 結果              |
|---------------------------|--------------------------------------------------------------------------------|-----------------|
| ①業務シェアでつながる職場づくり          | ・採用6年目までの職員へアンケート実施<br>①会計年度任用職員への業務分担<br>②業務担当者のチャットグループ<br>③参加者がテーマを設定できる勉強会 | 速やかな改善          |
| ②AI(生成AI含む)で身近な業務を改善できる？！ | ①AIを使った情報の共有・検索の改善<br>②定型業務の自動化・効率化<br>③専門業務のAI活用                              | 業務プロセスの見直しに位置づけ |
| ③外部とのやりとりをもっと簡単に！         | ・グループウェア・クラウドストレージの導入、デジタル人材との連携によるツール活用促進                                     | 業務プロセスの見直しに位置づけ |